

2021年度

商工業振興に関する要望書

2020年10月30日



苫小牧商工会議所

The Tomakonai Chamber of Commerce and Industry

平素、苫小牧商工会議所の商工業振興への取組に関し、一方ならぬご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地元企業を取り巻く環境は、少子高齢化による働き手不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による多大な影響を受け、過去に例のない厳しい状況にあります。また、この状況が長期化することも危惧されます。

感染症対策と経済活動のバランスをとりながら、苫小牧の商工業振興が一層発展するために必要な事項を取りまとめましたので、令和3年度（2021年度）予算の編成に当たり、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

2020年10月30日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧商工会議所

会頭 宮本 知治

目次

要望事項	関係機関			ページ
	国	北海道	苫小牧市	
1 重点要望事項				
(1) コロナ禍からの経済回復に向けた支援策	○	○	○	1
(2) 駅周辺再整備構想の策定			○	2
(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進	○	○		3
(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備	○			4
(5) 北海道運輸局苫小牧運輸支局(仮称)の新設	○			5
2 新規要望事項				
(1) 苫小牧市の特性(ダブルポート・気候特性等)を活かした新たな産業創出支援と定住者増加への取組強化	○	○	○	6
(2) デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入	○	○	○	7
(3) 北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進	○			8
(4) 外国人労働者雇用に関する支援策	○	○	○	9
3 継続要望事項				
(1) 苫小牧を支える企業への支援策	○	○	○	10
(2) まちづくり・防災対策	○		○	11
(3) インフラの整備(道路・港湾・空港・鉄道・電力など)	○	○	○	12
(4) 雇用・人材育成	○	○	○	14
(5) 交流人口の増加と観光振興		○	○	15
4 参考資料				16
5 部会別索引				20
6 SDGs別索引				24

要望件数

重点要望事項 5 件 新規要望事項 4 件 継続要望事項 59 件 合計 68 件

回答基準

実現性		実行速度	
A	実現可能、又は実行中	A	本年度中、又は来年度 2年以内
B	実現に向けて検討中	B	3ヵ年計画、又は3年以内に実行
C	検討する	C	長期計画、又は計画中
D	見通し不明、又は不可能	D	実行なし

1-(1) コロナ禍からの経済回復に向けた支援策

●要望事項

1 事業継続に向けたさらなる支援と事業承継・譲渡への支援

- ①公共料金や市税の減免・納税猶予の継続
- ②積極的な新規融資を促す施策
- ③テレワーク導入への支援
- ④円滑な事業承継・譲渡への支援
- ⑤商工会議所等が実施する経済振興対策や事業活動に対する支援

2 大規模イベントの開催

- ・需要喚起と地域活性化のため、感染防止対策を徹底しつつ、市民も待ち望んでいるとまこまい港まつりやスケートまつり等の大規模イベントの開催

3 最低限の感染者情報の開示

- ・市内での新型コロナウイルス感染発生について、二次感染防止の観点から、プライバシーに配慮しつつ、市内発生状況・年代等、最低限の情報の開示

●目的と効果

目的 ・新型コロナウイルス感染症の流行により、経済活動の停滞が生じ、業種・規模を問わずあらゆる事業者において、需要の減少、急速な業績や資金繰りの悪化など極めて厳しい状況が続いています。特に地域経済や雇用を支える中小・零細事業者においては、事態の収束が見えない中で将来の展望を抱けず、廃業を検討している事業者も数多くおります。

- 地元経済や雇用を支える中小・零細事業者が、将来展望を描けず廃業することが無いよう、また、再度の感染拡大の中でも企業の事業継続性が維持できる体制を構築し、速やかに外部環境の変化に対応できるよう、より一層の支援策を迅速かつ継続して行うことが求められております。また、市民が安心して飲食や買い物ができる環境の構築支援を強く求めます。

効果 ・支援策を迅速かつ継続して行うことにより、企業が外部環境の変化に円滑に対応することができ、事業の継続、雇用の維持が図られる事に繋がります。

- ・事態終息後の経済回復が速やかになされる素地の維持が可能となります。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



1-(2) 駅周辺再整備構想の策定

●要望事項

駅周辺再整備構想の策定

●目的と効果

- 目的**
- ・平成26年の旧サンプラザビル閉鎖から6年ほどが経過しました。その間、苫小牧市は再整備に向け、様々な可能性を探り行動されておりますが、時間の経過とともに市民や経済界においても、閉塞感が広がりつつあります。
 - ・駅周辺再整備については、旧サンプラザビル権利集約に一定の方向性が示された段階で議論を進めることとされておりますが、市民にとっては、裁判の推移を見守るだけの状況が続いております。
 - ・この様ななか、駅周辺再整備の全体構想策定へ着手し、市民の駅前問題への関心を喚起し、「誇りと愛着が持てるまち」への希望を示すことが必要と考えます。
- 効果**
- ・駅前周辺再整備の構想と将来展望を示すことは、市民や経済界が「苫小牧の顔」である駅前及び周辺再生への道筋を共有することが可能となり、「誇りと愛着が持てるまち」への前進が加速します。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



閉鎖から6年余りが経過した旧サンプラザビル



老朽化のため閉鎖された駅前バスターミナル



1-(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

●要望事項

- 1 苫小牧登別通（仮称）の道道昇格と接続整備 (P16 参考資料①)
- 2 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進 (P16 参考資料②)
- 3 道道苫小牧環状線（札幌方面）から国道276号線に左折する車線レーンの増設（市立病院前交差点） (P17 参考資料③)
- 4 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討 (P17 参考資料④)

●目的と効果

- 目的
- 1・苫小牧登別通（仮称）は苫小牧市から白老町を經由し登別市まで連絡する構想路線となっており国道36号の代替道路として位置づけられるなど、重要な路線です。
 - ・2011年の東日本大震災による大津波警報発表時には、国道36号線が長時間通行止めとなり、2017年の台風18号では竹浦橋が被災し、約1か月にわたる通行止めとなるなど、影響が広範囲に及びました。
 - ・苫小牧登別通（仮称）の整備によって、国道36号線を補完する広域道路として、幹線道路ネットワークの強化及び災害発生時の代替性が強化され、地域の相互連携機能の強化につながります。
 - 2・苫小牧中央インターチェンジの完成により、交通量増加が予想されることから緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間の高丘地区への4車線拡幅整備により、安全で円滑な交通が確保されます。
 - 3・市立病院前の交差点である、道道苫小牧環状線（札幌方面）から国道276号線に左折する車線レーンの混雑が解消・緩和されることにより、自動車事故や歩行者の安全、周辺住民の安全が確保されます。
 - 4・当市は、東西にかけて鉄路が走り、中野跨線橋から港跨線橋間の約4.2kmには鉄路をまたぐ方法がなく、いずれかの跨線橋に迂回して移動する必要があります。
 - ・現在、海側には多くの製造業や物流関連企業が進出し、多数の従業員を抱え、さらに、臨海北通は交通量も多いことから、災害時における人と車両の鉄北方向への避難路を確保することにより地域の安全性が向上します。

- 効果
- ・円滑な交通、利便性向上及び災害時における安心安全の確保が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



1-(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

● 要望事項

- 1 東港区機能伸展のためのインフラ整備として
 - ・通信回線網の充実及び強化
 - ・上下水道設備の充実及び強化 (P18 参考資料⑤)
- 2 周文ふ頭新規岸壁の整備 (新規着工) (P18 参考資料⑥)
- 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備 (P18 参考資料⑦)

● 目的と効果

- 目的**
- 1 ・東港区に敷設されている通信回線は1系統のみで、緊急時や災害時に備えた複線化や強化が求められています。また東港区を含む安平川から東側のエリアは苫小牧市の給水区域に入っておらず、胆振東部地震の際には、断水復旧までに約1ヶ月の期間を要するなど、復旧を市が主導できない状況となりました。
 - ・東港区のインフラ整備を行うことで、災害時の対応能力強化と物流機能維持が図られます。
 - ・また本年6月から大型冷蔵冷凍倉庫が稼働し、同倉庫と連携した食関連事業の集積が期待されるなか、企業の進出を後押しし、付加価値の高い物流拠点形成の促進が期待されます。
 - 2、3 ・公共埠頭では混雑が恒常化し、船舶の滞船や不必要な横持ち*が生じるなど、非効率な荷役を強いられており、北海道胆振東部地震においても、災害支援船が利用岸壁の変更・移動を余儀なくされるなど、岸壁の不足が深刻な状況となっております。
 - ・大規模自然災害等に備えた耐震・防災機能強化と荷役作業の効率化により、船舶の混雑・停船の緩和が図られ、物流コストの削減や港湾労働者の労働生産性向上、地域産業の競争力強化につながります。

- 効果** ・物流の効率化と苫小牧港区の更なる発展が期待できます。

● SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



※横持ちとは

- ・特定の場所に置かれた貨物を別の場所などに移動すること。
- ・混雑により、荷役事業者が希望するふ頭を利用できないケースが発生しており、離れたふ頭を利用しなければならず、目的地まで陸路での輸送を余儀なくされている。

No.2021-052 担当部会：運輸交通部会

1-(5) 北海道運輸局苫小牧運輸支局（仮称）の新設

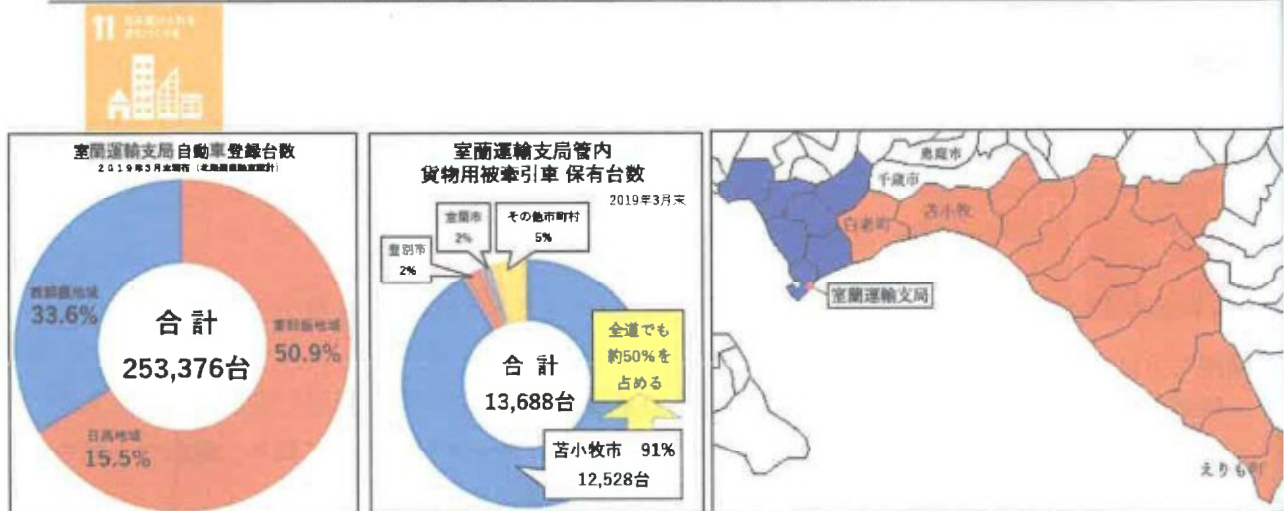
●要望事項

陸運業務と海運業務を一体化した組織体制である「苫小牧運輸支局（仮称）」の新設

●目的と効果

- 目的**
- ・日高地域を含めた東胆振の車両保有台数は、室蘭運輸支局管内全体の約 65%を占め、その割合も年々増加しています。苫小牧市へは乗用車の出張検査が実施されているものの、利用日が年間 43 回と限定されていることもあり、十分にニーズに応えきれていない状況です。
 - ・また、苫小牧市内の事業者が保有するトレーラー（貨物用被牽引車）の台数は、室蘭運輸支局管内の 90%以上を占めております。トレーラーや重機、クレーンなどの大型車両は、直接運輸支局に持ち込み検査を受けなければならない、自走できない車両は運搬のために回送料が発生するなどの課題があり、事業者の費用負担の軽減、時間短縮に向けた対応が切望されております。
 - ・苫小牧港は北日本最大の海上輸送拠点として重要な役割を担い、今後、海運・陸運関係の業務の増加が予想される中で、迅速で効率的な運輸業務を行うためには陸運・海運業務を一体化した組織体制による、運輸支局の新設が強く求められています。
- 効果**
- ・苫小牧支局を設置することにより、近隣地域を含めた多くの事業者の利便性向上と業務の効率化につながることに加え、札幌運輸支局の混雑解消など広域での効果が期待できます。
 - ・また、海運・陸運業務を一体化した組織体制の強化により、苫小牧市の物流ネットワークの拠点化がさらに進みます。

●SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）



2-1) 苫小牧市の特性（ダブルポート・気候特性等）を活かした
新たな産業創出支援と定住者増加への取組強化

●要望事項

- 1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援
 - ・ コワーキングスペースの創設
 - ・ 市内中小企業の産業振興と新産業創出を後押しする「苫小牧市ビジネスサポートセンター（仮称）」の設置
- 2 定住者増加のための取組強化
 - ・ ターゲットを明確にした定住者増加への取組強化
 - ～ 単身赴任者の家族を伴った移住の促進
 - ～ 大企業、IT企業などのサテライトオフィス誘致と移住の促進
 - ～ ワークেশョンを契機とした移住者の獲得
 - ・ 苫小牧市の交通アクセス（空港・港）の利便性を強調した住みやすい街のPR強化

●目的と効果

- 目的**
- 1 ・ 新産業創出拠点及びベンチャー育成拠点としての基盤を整備することにより競争力のあるものづくり産業等が創出され、地域産業の振興と新規雇用創出が見込まれます。
 - 2 ・ どのような層（年齢・家族構成等）の定住者獲得を目指すのかを明確にすることにより、具体的な取組が可能になります。
 - ・ また、コロナ禍によるテレワーク導入促進と、企業による働き方改革への取組が進展するなか、時勢を得つつ取組を推進することができます。
- 効果**
- ・ 苫小牧市の将来を牽引する新たな産業創出のための基盤整備が促進されます。
 - ・ 人口減少スピードを緩和するための定住者の獲得が期待できます。

●SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）



2-(2) デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入

●要望事項

デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入

- ・行政のデジタル技術活用促進
- ・市民の情報格差※解消への取組推進

●目的と効果

- 目的**
- ・政府はデジタル庁創設の意向を表明しておりますが、行政（公的医療分野含む）などにおいて、申請手続などのオンライン化やマイナンバーの活用等デジタル技術の活用により、行政コスト削減に加え、市民の利便性向上が期待できます。
 - ・現在、市においてもホームページやLINEを活用した様々なサービスや情報発信が行われておりますが、一方ではスマートフォンやPC、インターネットをはじめとするデジタル技術への抵抗感や知識不足のため、多くの市民がその利便性を享受できない現実があります。
 - ・このような状況を解決すべく、市民向けデジタル技術利活用勉強会の開催など、様々な角度からの情報格差※解消への取組により、次世代へ向けた先進的なまちづくりを期待します。
- 効果**
- ・行政がデジタル技術を活用したサービスを円滑に提供することにより、市民の利便性向上のみならず、行政のサービス向上、働き方改革の推進、各種コストの削減、効率化に繋がり、様々な社会的課題の解決が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



※情報格差（デジタル・ディバイド）とは

- ・インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと（平成16年版情報通信白書）

2-(3) 北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進

●要望事項

北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進

●目的と効果

- 目的**
- ・苫東厚真発電所は、北海道全体の発電量の50%超を石炭火力によって担ってきましたが、経済産業省が二酸化炭素（CO2）を多く排出する旧式の石炭火力の発電量を2030年までに大幅に削減する方針を打ち出し、世界的な石炭火力発電に対する逆風とともに施設の老朽化が進行しております。
 - ・このような環境のなか、低廉で安定的な電力供給（緊急時の電力確保を含む）の確保によって生産活動の維持が可能となり、企業の業績改善及び市の税収アップが期待されます
 - ・グリーン電力の活用によるSDGs（CO2削減）目標の達成のため、次世代エネルギー発電施設の整備促進が求められています。
- 効果**
- ・企業の業績改善及びそれに伴う市税収入の増加
 - ・エネルギー基地の集積地としての市の魅力、認知度向上
 - ・道内外の企業誘致活動におけるPRポイントとしての活用が期待できます。

●SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）



2-(4) 外国人労働者雇用に関する支援策

●要望事項

- 1 「特定技能」制度の拡充
 - ・試験（技能評価試験及び日本語能力試験）回数の増加
 - ・業種拡充への要望支援
- 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進

●目的と効果

- 目的**
- 1・2019年4月に改正された入出国管理法において、新たな在留資格として「特定技能」がスタートしましたが、特定技能試験は申込多数により、すぐ規定数に達した業種があり、急遽、日程を追加して試験を増やし実施予定とするなど、ニーズの高さがうかがえる状況です。
 - ・人手不足が深刻な業種においては、即戦力となる外国人を受入可能とする「特定技能」制度の拡充は、多様な人材の確保が可能となり、企業の持続的な成長及び事業拡大に期待できます。
 - ・また、外国人労働者の受け入れ環境の整備や幹部登用などにより、海外への事業展開などのビジネスチャンスの拡大も見込まれます。
 - 2・外国人を労働者としてだけ捉えるのではなく、地域社会の一員として言語をはじめとするコミュニケーション支援、地域における生活ルールの共有や居住などの生活支援を行い、住民としての自立を促進する支援が必要です。
- 効果**
- ・外国人労働者雇用に関する制度拡充、受入環境の整備により、地元企業の多様な人材確保が促進され、外国人の進学や就業など、将来の自己実現と日本社会への貢献が期待できます。
 - ・また、外国人の定住人口が増加し、地域で生活・交流する事により、異文化の理解力向上につながり、国際理解の推進と国際感覚の醸成が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)



3-(1) 苫小牧を支える企業への支援策

● 要望事項

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20033	公共事業予算確保	A	A	建設業部会
20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	建設業部会
20035 20037	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	A	A	建設業部会
20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	建設業部会
20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	製造業部会
20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	C	A	会議所
20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	B	B	会議所
20052	店舗改装費補助金の拡充	A	A	商業部会
20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	建設業部会

● 目的と効果

苫小牧地域を支える企業への各種支援策により、持続的に発展できる環境の維持、整備が可能となり、急激な外部環境の変化に対応するための素地が維持されます。

● SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(2) まちづくり・防災対策

●要望事項

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	地域振興課 食品飲食業部会
20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した 早期解体	C	C	地域振興課 食品飲食業部会
20014	公的津波避難施設設置の推進	B	B	建設業部会 運輸交通部会
20015	集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化	A	B	運輸交通部会
20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する 生活圏形成の推進	B	C	商業部会
20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進 ②街路灯LED化の推進 ③無電柱化	A	B	商業部会
20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	A	A	商業部会
20054	空家等解体補助金の拡充	A	C	商業部会
20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の整 備活用	B	B	地域振興委員会
20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	B	B	商業部会
20100	苫小牧の優位性(空港隣接、気候特性等)を活かした 新たな産業モデルの創出	A	A	サービス業部会

●目的と効果

生活基盤を支える商店街やコミュニティの維持・存続に関する支援体制の拡充、強化により、持続可能で、災害に強く、東西バランスを考慮したまちづくりの推進が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(3) インフラの整備（道路・港湾・空港・鉄道・電力など）

● 要望事項

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	運輸交通部会
20017	地籍調査着手が確定した際のJVを含む地元企業への優先発注	B	C	サービス業部会
20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	B	B	製造業部会
20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	C	C	運輸交通部会
20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	建設業部会 運輸交通部会
20060	臨海東通の早期整備	B	C	建設業部会 運輸交通部会
20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	建設業部会 運輸交通部会
20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	運輸交通部会 サービス業部会
20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上 (CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	B	C	地域振興委員会
20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	地域振興委員会
20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	B	C	地域振興委員会
20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	C	C	地域振興委員会
20073	新千歳空港民間委託による一層の活性化	A	C	地域振興委員会
20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	A	C	地域振興委員会

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	A	C	地域振興委員会
20087	通行車両の安全確保の為の鹿対策の実施	C	C	運輸交通部会
20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	C	C	運輸交通部会
20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	C	C	運輸交通部会
20091	西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	運輸交通部会
20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	運輸交通部会
20094	市道東部両通線の路肩を含めた道路整備	B	C	建設業部会 運輸交通部会
20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	B	C	建設業部会 運輸交通部会
20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れたスポーツ施設の拡充	B	C	建設業部会
20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	C	C	地域振興委員会
20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	地域振興委員会
20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	C	C	運輸交通部会
20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快速便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	A	C	運輸交通部会

●目的と効果

市や関係機関への働きかけを強化することにより、インフラ整備が促進されます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3 継続要望事項

関係官庁：厚生労働省ほか・北海道・苫小牧市

3-(4) 雇用・人材育成

●要望事項

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	C	C	食品飲食業部会 女性会
20013	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備並びに児童発達支援事業の拡充	C	C	食品飲食業部会 青年部
20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	A	A	地域振興委員会
20040	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	運輸交通部会
20024 20025	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等と とまジョブの有効活用及び周知推進	A	A	建設業部会
20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の 就業支援	B	B	サービス業部会

●目的と効果

生産人口の減少により、深刻な人材不足が喫緊の課題であり、雇用の安定・拡大、地元人材の育成・確保、地元人材育成に必要な施設の維持などが強く求められることから、各種施策の推進により、多様な人材確保と育成ができる環境整備が可能となります。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



3-(5) 交流人口の増加と観光振興

●要望事項

No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	担当部会
20007 20008	経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進	D	C	会議所
20009	苫小牧国際交流拠点構想における中心市街地活性化プロジェクトの推進	D	C	会議所
20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡充と更新及びイベント開催の検討	A	A	サービス業部会
20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生象徴空間「ウポポイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	B	B	サービス業部会
20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	食品飲食業部会
20112	苫小牧サイクリングターミナルの積極的な活用への支援	A	A	サービス業部会

●目的と効果

自然・食・文化・産業などの地域資源を活かし、各種施設の有効活用、新たな観光ルートの発掘と発信、統合型リゾート誘致などの取組により、誘客促進と交流人口増加が期待できます。

●SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)



4 参考資料

P3 参考資料① 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

1 苫小牧登別通（仮称）道道昇格と接続整備



P3 参考資料② 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

2 高丘地区への4車線拡幅整備



P3 参考資料③ 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

3 道道苦小牧環状線左折レーン増設



P3 参考資料④ 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

4 臨海北接続統道路新設



P4 参考資料⑤ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

1 上下水道設備の充実及び強化 (苫小牧市新水道ビジョン：給水地図)



P4 参考資料⑥ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

2 周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工)



P4 参考資料⑦ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備



P12 参考資料⑧ 3 継続要望事項(3) インフラ整備 (道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

2021-033 美沢錦岡通の早期整備

2021-034 臨海東通の早期整備



P13 参考資料⑨ 3 継続要望事項(3) インフラ整備 (道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

2021-052 市道東部南通線の路肩を含めた道路整備

2021-053 勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化



5 部会別索引

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	P
商業部会	重点	20001 20002	駅周辺整備再整備構想の策定			2
	継続	20052	店舗改装費補助金の拡充	A	A	10
	継続	20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
	継続	20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
	継続	20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する生活圏形成の推進	B	C	11
	継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進 ②街路LED化の推進 ③無電柱化	A	B	11
	継続	20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	A	A	11
	継続	20054	空家等解体補助金の拡充	A	C	11
	継続	20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	B	B	11
食品飲食 業部会	重点	20001 20002	駅周辺整備再整備構想の策定			2
	新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化			6
	新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入			7
	新規	20027 20028	1 「特定技能」制度の拡充 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進			9
	継続	20003	旧サンブラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
	継続	20004	旧サンブラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	C	C	14
	継続	20013	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備並びに児童発達支援事業の拡充	C	C	14
	継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	15
製造業 部会	新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化			6
	新規	21004	北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進			8
	継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	10
	継続	20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	B	B	12

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	P
建設業 部会	重点	20115 20116	1 苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備 2 緑崎線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高 丘地区への4車線拡幅整備の推進 3 道道苫小牧環状線(札幌方面)から国道276号線に左折する 車線レーンの増設(市立病院前交差点) 4 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新 設の検討			3
	継続	20033	公共事業予算枠確保	A	A	10
	継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	10
	継続	20035 20037	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注 金額の適正化	A	A	10
	継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	10
	継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	10
	継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	B	B	11
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	12
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	12
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	12
	継続	20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に 入れたスポーツ施設の拡充	B	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	B	C	13
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの 橋梁強化	B	C	13
	継続	20024 20025	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブ の有効活用及び周知推進	A	A	14
サービ ス業部会	新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化			6
	継続	20100	苫小牧の優位性(空港隣接、気候特性等)を活かした新たな産 業モデルの創出	A	A	11
	継続	20017	地籍調査着手が確定した際のJVを含む地元企業への優先発 注	B	C	12
	継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	12
	継続	20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支 援	B	B	14
	継続	20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡 充と更新及びイベント開催の検討	A	A	15
	継続	20103	苫小牧市西側の観光資源(樺前山・アルデン)と民族共生象徴 空間「ウボボイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	B	B	15
継続	20112	苫小牧サイクリングターミナルの積極的な活用への支援	A	A	15	

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	P
運輸交通 部会	重点	20115 20116	1 苫小牧登別連(仮称)の道道昇格と接続整備 2 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高 丘地区への4車線拡幅整備の推進 3 道道苫小牧環状線(札幌方面)から国道276号線に左折する 車線レーンの増設(市立病院前交差点) 4 災害対応道路として、国道36号線と雄海北通の接続道路新 設の検討			3
	重点	20085 20086 20087 20092	1 東港区機能進展のためのインフラ整備 2 周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工) 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備			4
	重点	20011	陸運業務と海運業務を一体化した組織体制である「苫小牧運 輸支局(仮称)」の新設	B	C	5
	継続	20015	集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化	A	B	11
	継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	B	B	11
	継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通 安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	12
	継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけ の推進	C	C	12
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	12
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	12
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	12
	継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	12
	継続	20087	通行車両の安全確保の為に鹿対策の実施	C	C	13
	継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設 置	C	C	13
	継続	20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	C	C	13
	継続	20091	西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	13
	継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	13
	継続	20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	C	C	13
	継続	20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快運 便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	A	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	B	C	13
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの 橋梁強化	B	C	13
継続	20040	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	14	

担当部会	分類	No.	要望項目	回答 実現性	回答 速度	P
地域振興 委員会	重点	20001 20002	駅周辺整備再整備構想の策定			2
	継続	20003	旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	11
	継続	20004	旧サンプラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	11
	継続	20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の整備活用	B	B	11
	継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに 利便性の向上(CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	B	C	12
	継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	12
	継続	20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	B	C	12
	継続	20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	C	C	12
	継続	20073	新千歳空港民間委託による一層の活性化	A	C	12
	継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を 柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物 流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	A	C	12
	継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	A	C	13
	継続	20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	C	C	13
	継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	13
	継続	20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	A	A	14
女性会	新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入			7
	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材 教育の充実	C	C	14
青年部	新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化			6
	継続	20013	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備並びに児童発達 支援事業の拡充	C	C	14
会議所	重点	21001	1 事業承継に向けたさらなる支援と事業承継・用途への支援 2 大規模イベントの開催 3 最低限の感染者情報の開示			1
	継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	C	A	10
	継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	B	B	10
	継続	20007 20008	経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進	D	C	15
	継続	20009	苫小牧国際交流拠点構想における中心市街地活性化プロジェ クトの推進	D	C	15

●SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)別索引

SDGsとは

- ・ SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。
- ・ 2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。
- ・ 2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

	<p>目標1 [貧困]</p> <p>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる</p>		
	<p>目標2 [飢餓]</p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>		
	<p>目標3 [保健]</p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>		
	<p>目標4 [教育]</p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>		
分類	No.	要望項目	P
新規	20027 20028	1 「特定技能」制度の拡充 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	9
継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	14

		目標5 [ジェンダー] ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	
分類	No.	要望項目	P
継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実	14
		目標6 [水・衛生] すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	
		目標7 [エネルギー] すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	
分類	No.	要望項目	P
新規	21004	北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進	8
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	12
		目標8 [経済成長と雇用] 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(デーンセント・ワーク)を促進する	
分類	No.	要望項目	P
重点	21001	1 事業承継に向けたさらなる支援と事業承継・用途への支援 2 大規模イベントの開催 3 最低限の感染者情報の開示	1
新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化	6
新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入	7
新規	21004	北海道のエネルギー供給拠点としての次世代エネルギー発電施設の整備促進	8
新規	20027 20028	1 「特定技能」制度の拡充 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	9
継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	10
継続	20035 20037	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	10
継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	10
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	12
継続	20020	苫小牧地域職業訓練センターの利用促進	14

分類	No.	要望項目	P
継続	20024 20025	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブの有効活用及び周知推進	14
継続	20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	14
継続	20040	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	14
継続	20007 20008	経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進	15
継続	20009	苫小牧国際交流拠点構想における中心市街地活性化プロジェクトの推進	15



目標9 【インフラ、産業化、イノベーション】

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

分類	No.	要望項目	P
重点	21001	1 事業承継に向けたさらなる支援と事業承継・用途への支援 2 大規模イベントの開催 3 最低限の感染者情報の開示	1
重点	20085 20086 20087 20092	1 東港区機能進展のためのインフラ整備 2 周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工) 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	4
新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化	6
新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入	7
新規	20027 20028	1 「特定技能」制度の拡充 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	9
継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	12
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	12
継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	12
継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	13



目標10 【不平等】

国内及び各国家間の不平等を是正する

分類	No.	要望項目	P
新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入	7
新規	20027 20028	1 「特定技能」制度の拡充 2 多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	9
継続	20013	保育園・幼稚園の地域ニーズに対応した整備並びに児童発達支援事業の拡充	14



目標11 「持続可能な都市」

包括的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

分類	No.	要望項目	P
重点	21001	1 事業承継に向けたさらなる支援と事業承継・用途への支援 2 大規模イベントの開催 3 最低限の感染者情報の開示	1
重点	20001 20002	駅周辺整備再整備構想の策定	2
重点	20115 20116	1 苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備 2 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進 3 道道苫小牧環状線(札幌方面)から国道276号線に左折する車線レーンの増設(市立病院前交差点) 4 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討	3
重点	20085 20086 20087 20092	1 東港区機能進展のためのインフラ整備 2 周文ふ頭新規岸壁の整備(新規着工) 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	4
重点	20011	陸運業務と海運業務を一体化した組織体制である「苫小牧運輸支局(仮称)」の新設	5
新規	21002	1 苫小牧市の特性を活かした新たな産業創出支援 2 定住者増加のための取組強化	6
新規	21003	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入	7
継続	20033	公共事業予算枠確保	10
継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	10
継続	20035 20037	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と発注金額の適正化	10
継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	10
継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	10
継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	10
継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	10
継続	20052	店舗改装費補助金の拡充	10
継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	10
継続	20003	旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現	11
継続	20004	旧サンプラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	11
継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	11
継続	20015	集中豪雨による冠水対策等防災対策の強化	11
継続	20049	マスタープランに沿った人口減少社会に対応する生活圏形成の推進	11

分類	No.	要望項目	P
継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ①街路樹・ガードレールの整備推進 ②街路灯LED化の推進 ③無電柱化	11
継続	20051	苫小牧市内空き店舗活用事業補助金の拡充	11
継続	20054	空家等解体補助金の拡充	11
継続	20055	勇払地区活性化計画の検討及び勇払前浜地区の整備活用	11
継続	20066	繁華街・地域商業地区への防犯カメラ設置促進	11
継続	20100	苫小牧の優位性(空港隣接、気候特性等)を活かした新たな産業モデルの創出	11
継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	12
継続	20017	地籍調査着手が確定した際のJVを含む地元企業への優先発注	12
継続	20032	苫小牧市におけるカーボンリサイクル技術の利活用構想の策定	12
継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	12
継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	12
継続	20060	臨海東通の早期整備	12
継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	12
継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	12
継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上(CIQ体制、2次交通アクセスの充実)	12
継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	12
継続	20071	新千歳空港の国際線新航路の誘致	12
継続	20072	新千歳空港の拡張に係る地元企業の参入	12
継続	20073	新千歳空港民間委託による一層の活性化	12
継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かした「物流・エネルギー・情報」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(自動車・食・物流・エネルギー・ロボット開発等関連産業)	12
継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	13
継続	20087	通行車両の安全確保の為の鹿対策の実施	13
継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	13
継続	20090	国際コンテナターミナル周辺地域の道路整備	13
継続	20091	西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	13
継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	13

分類	No.	要望項目	P
継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備	13
継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修工事開始までの橋梁強化	13
継続	20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れたスポーツ施設の拡充	13
継続	20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	13
継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	13
継続	20121	国道36号線の中野跨線橋及び明野南通の6車線化	13
継続	20122	通勤・通学時の利便性向上のためのJR千歳～苫小牧間(快速便・エアポートへの接続便)の増便に向けた関係機関への要請	13
継続	20007 20008	経済活性化並びに観光振興につながる苫小牧版統合型リゾート(IR)構想の推進	15
継続	20009	苫小牧国際交流拠点構想における中心市街地活性化プロジェクトの推進	15
継続	20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進、設備拡充と更新及びイベント開催の検討	15
継続	20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生象徴空間「ウポポイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	15
継続	20112	苫小牧サイクリングターミナルの積極的な活用への支援	15



目標12 【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する

分類	No.	要望項目	P
継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	13
継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	15





目標13 【気候変動】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標14 【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

<p>16 平和と公正を すべての人に</p> 	<p>目標16 [平和]</p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
<p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p> 	<p>目標17 [実施手段]</p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>



苫小牧商工会議所

The Tomakomai Chamber of Commerce and Industry